

国際社会学部

歴史学（モンゴル近現代史）

History (The modern history of Mongolia)



どのような学問か

20世紀のモンゴル人の活動と、中央ユーラシア・東北アジアの国際関係の関わりを、多様な史料の読解を通じて分析し、今日の中央ユーラシアが抱える諸問題を理解しようと試みる学問です。国際関係史、政治史、民族問題、社会主義の歴史、中国・ロシアと周縁の関係の問題など、今日の中央ユーラシア・東北アジアを考える上で不可避の諸問題が含まれます。歴史学は史料の分析に基づく学問ですが、モンゴル近現代史研究では、関係各国の公文書史料を用いることになります。これら公文書史料の中には、1980年代末以降のソ連圏社会主義諸国の民主化以降はじめて公開されるようになったものが多く、公開前は極秘扱いだった情報が含まれます。日本、モンゴル、ロシア、中国など各国の史料を扱う必要があるため、多様な語学能力が必要とされるグローバルな学問です。

外大の歴史学（モンゴル近現代史）

外大のモンゴル近現代史研究の第1の特徴は、モンゴルを広域的な視点で捉えることです。20世紀のモンゴル人社会では、複雑なエスニック・グループ構成を内包しながら、日本、ロシア、中国など各国が関与を図るなかで、モンゴル人の統一と自立が模索されました。東北アジア・中央ユーラシアという広域的規模で、モンゴルの歴史的事象を理解する必要があります。

2つ目の特徴は、マルチ・アーカイブス的手法（複数言語の公文書史料の複合的利用に基づく研究）に基づく文章情報の分析です。多様で膨大な文章情報と対面し、そこから物事の本質を見出す能力が求められます。これは、大量の情報が溢れる現代社会で活躍するために必須の能力です。

外大の教育環境を生かし、個々の研究者（=学生）が多様な言語を身に付け、グローバルに現代社会を理解できる能力の修得を目指しています。

関連する授業一覧（2023年度）

- 地域基礎科目（中央アジア、ロシア、東アジア）
- 歴史資料体論（概論科目）
- モンゴルとソ連（専門科目）
- 中央ユーラシアの民族問題と近現代モンゴル（専門科目）
- 中央アジア史概説（専門科目）

ゼミ

- 青木雅浩
（中央アジア〔モンゴル〕）

関連する学問分野

- 中央アジア史
- 東アジア史
- ロシア・ソ連史
- 日本近現代史
- 政治史
- 国際関係史
- 民族問題研究

おススメの本

- 『モンゴル史研究：現状と展望』（吉田順一監修／明石書店）
- 『中央ユーラシア史』（小松久男編／山川出版社）
- 『中央ユーラシア史研究入門』（小松久男、荒川正晴、岡洋樹編／山川出版社）